

い で 議会だより

第85号

2023年(令和5年)
10月発行



テオテラスいでの
オープニングイベントで
披露された『おかげ踊り』

令和4年度決算	2P
9月定例会で決まった主なこと	6P
町政を問う	8P
研修報告	16P
いでたんが聞く	18P

令和4年度 決算



いでたんが
わかりやすく解説します！

井手町のお金

※1

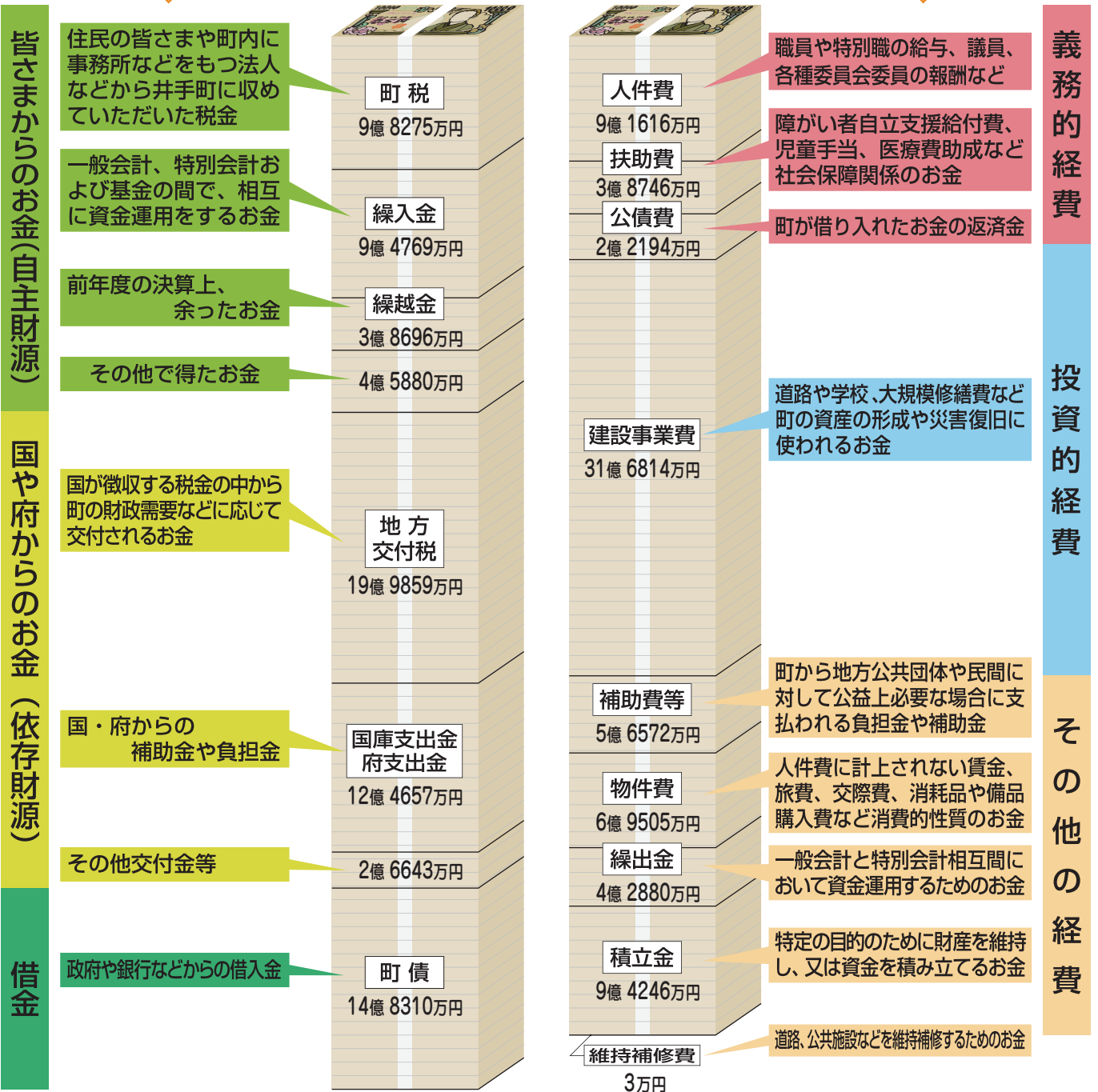
全ての会計で実質収支額が黒字に

(千円 四捨五入)

入ってきたお金
77億 7089万円

一般会計

使ったお金
73億 2576万円



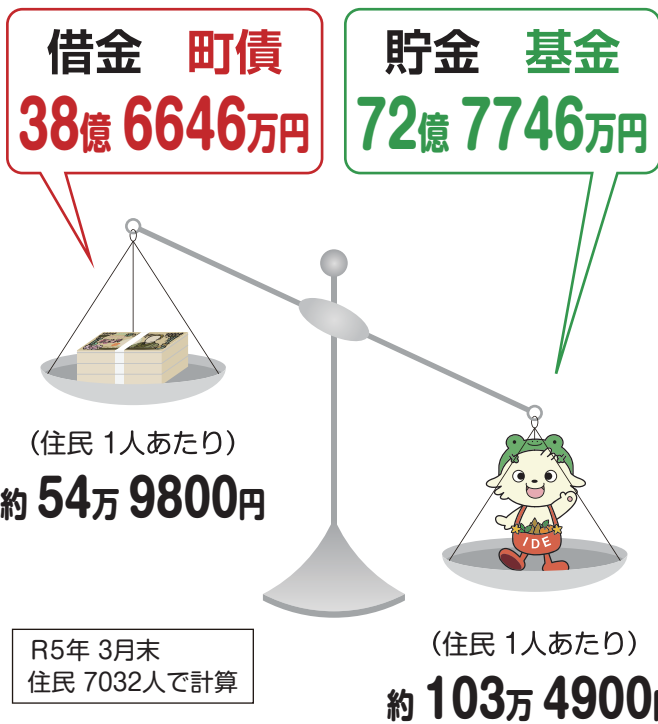
義務的経費

投資的経費

その他の経費

井手町の 借金と貯金

（一般会計）



いでたんの 用語解説

※1 実質収支額とは…

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額から、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。正確な意味での黒字または赤字の額を見るためには、翌年度に繰り越される額が含まれる形式収支ではなく、繰り越して使われる額を差し引いた実質収支が適しており、市町村の本当の財政収支はこの額によって表されます。

※2 特別会計とは…

会計区分のひとつで、一般会計と切り離して独立して行われる会計のこと。

特定の事業や資金の運用の状況を明確化するのが目的で、各特別会計ごとに予算執行が地方公共団体で管理され、それぞれ使い道が決められています。

専用のお金

※2 特別会計

国民健康保険のお金

- 入 9億 1981万円
- 出 8億 5850万円

介護保険のお金

- 入 9億 3981万円
- 出 8億 7926万円

他に 多賀財産区特別会計

井手町水道事業会計（企業会計）があります

多賀地区簡易水道のお金

- 入 5908万円
- 出 4606万円

後期高齢者医療のお金

- 入 1億 3524万円
- 出 1億 3132万円

公共下水道のお金

- 入 4億 6519万円
- 出 4億 5027万円

決算特別委員会 主な質疑

決算特別委員会で各委員が質疑した内容と行政側の答弁は次の通りです。



満開の玉川堤の桜

Q ふるさと応援促進事業及び特産品開発の内容は

A ふるさと納税寄附件数445件。特産品開発は「テオテラスいで」にて、新商品として販売を開始している。

Q 井手応援隊活動拠点運営事業内容は「むすび家ide」

にて京都産業大学の学生からオンラインや対面での寺子屋事業やミニ縁日等の交流事業を行った。

Q ふるさと納税寄附金活用事業の内容は
A 自然環境の取組として玉川堤の桜の維持管理等に活用している。

Q 井手町地域おこし協力隊事業の事業内容は

A ふるさと納税返礼品の掘り起こしや魅力発信事業としてフェスタ等で町のPRを実施した。

Q 空き家再生支援の状況は
A 再生件数は4件、空き家の把握状況約160軒、空き家バンク登録累計は49件、契約済み40件、魅力発信事業でPRしている。

Q 防犯カメラ設置状況と今後の整備予定は
A 平成22年度から現在までで23台設置している。今後必要最小限で警察と協議しながら効果のある場所に設置していきたいと考えている。

Q 個人番号カード交付事業の状況は

A 令和4年度末65.8%交付している。

Q 井手町子育て世帯応援給付金の取組内容は

A 児童一人当たり15000円給付、489世帯、862人分を給付した。

Q 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業の内容は

A 令和4年度59世帯113名にレトルト食品等、3日相当分の食料品等支援物資を届けた。保健センターから陽性者へ電話し相談対応を行った。

Q 20歳からの健康づくり事業の内容は

A 健診機会のない20才から39歳の方が生活習慣病予防健診として49人が受診している。

Q 高齢者人間ドック助成数と周知方法は
A 令和3年度20人、令和4年度23人が助成を受けている。ホームページや広報に掲載している。

Q 物価高騰対策給食緊急支援事業の内容は

A 栄養価はもとより質と量を落とすことがないように通常の給食費1人一食小学校が250円、中学校が270円に加えてそれぞれ19円支援している。



井手応援隊活動拠点のむすび家ide

決算特別委員会報告

3件の決算全て認定

委員長 脇本尚憲

9月15日の9月定例会において、議会選出

の監査委員を除く、9

名の委員をもって構成

する決算特別委員会が

設置され、議案第51号

から議案第53号までの

3件の決算認定の件が

付託されました。

決算審査では、一般

会計の歳出の部から、

各款別に質疑を行った

後、歳入の部の質疑を

行い、次に特別会計に

ついては、各会計別に

歳入歳出全般にわたっ

て質疑を行い、最後に

総括質疑を行いました。

令和4年度井手町一

般会計、特別会計「国

民健康保険、多賀地区

簡易水道、後期高齢者

医療、介護保険、公共

下水道」歳入歳出決算

認定の件については賛

成多数。

令和4年度井手町水

道事業会計決算認定の

件、令和4年度井手町

多賀財産区特別会計歳

入歳出決算認定の件の

2議案については、い

ずれも賛成全員で、認

定すべきものと決定し

ました。

賛成討論

職員が一丸となって努力している
谷田利一 議員

一般会計の歳入については、企業誘致などの成果や国や府からの力強い支援を受けるなど、あらゆる面で歳入確保に努力している。

歳出についても、総務関係では、新庁舎建設事業や、交通対策事業などが、民生関係では、バリアフリー整備、衛生関係では、疾病予防のための予防接種事業や各種検診事業などが、農林関係では、森林整備事業などが実施されている。

商工関係では、特産品開発推進事業などが、土木関係では、多賀地区町営住宅建替事業など充実した暮らしの周辺整備事業などが、消防関係では、消防ポンプ自動車の更新をはじめ、災害に強いまちづくりのための整備などが実施されている。

教育関係では、小・中学校の空調整備工事など、教育環境の充実に積極的に取り組まれている。

自主財源が乏しい中、限られた財源を有効活用して、本年度も健全な行財政運営を行い、各種事業が着実に前進できた決算であると、高く評価する。

特別会計は賛成多数で認定

反対討論

住民の声に耳を傾け本来の責務を
谷田健治 議員

役場が高台に移転したことにより、役場に行くことが困難になった町民がいる。しかし、多くの町民が望むコミュニティバスを走らせることに背を向けたままである。強く望まれている小・中学校の体育館への空調設備の設置も行っていない。23億を超える財政調整基金の一部でも活用すれば、実現可能である。

国民健康保険特別会計では、未就学児には均等割額の半額負担軽減がようやく行われたが、対象はわずかに51人である。年所得の急減に応じた国保税減免を制度化するよう求める。

後期高齢者医療特別会計では、後期高齢者は他の世代と比べて「高い医療費」「低い収入」という生活実態であり、有病率も高いのに、窓口負担が2倍になって受診控えと重症化を招きかねない。

介護保険特別会計では、高い介護保険料が高齢者を苦しめている。コロナ禍によって必要な介護が十分に取られず認知症のリスクを抱える高齢者がふえており、真に必要な介護を社会的に保障する介護保険制度となっていない。



更新された災害対応特殊消防ポンプ自動車



町営住宅跡地等に整備された南区防災広場

9月定例会で決まった主なこと

▼空き家活用促進のための調査を開始

▼低所得妊婦に初回産科受診料を支援

9月11日から29日まで9月定例会が開かれ、補正予算などを審議しました。

改正した条例

●井手町印鑑条例の一部

を改正する条例

電子署名等に係る地方

公共団体情報システム機

構の認証業務に関する法

律の改正に伴うものです。

専決処分

●令和5年度井手町

一般会計補正予算

（第4回）

553万5000円を

追加し、53億7184万

2000円となります。

予算総額は54億3394万2000円です。

●介護保険特別会計補正

予算（第1回）

1732万5000円

を追加し、補正総額は

9億9115万5000円です。

発 委

●井手町議会委員会条例

の一部改正

議会運営委員会の委員

の定数を6人から5人に

変更しました。

●工事請負契約変更

井手町新庁舎等計画地

外構工事

220万円

主な内容

◎空き家活用促進調査

400万円

令和6年度までを計画

期間としている「井手町

空家等対策計画」の次期

計画の策定に向けて、本

町における空き家等の実

態について現状把握のため
の調査を行うものです。

◎改良住宅等改修

220万円

既存の町営住宅で改修

が必要なるところを追加

計上するものです。

◎低所得妊婦初回産科
受診料支援

5万円

低所得の妊婦の経済的

負担軽減を図るとともに、

当該妊婦の状況を継続的

に把握し、必要な支援に

つなげるために、初回の

産科受診料を助成するも

のです。

◎ふるさと応援基金
積立金

92万4000円

まちづくり役に役立てて

ほしいと寄附をいただい

たものを基金に積み立て

るものです。

◎消防団員退職償金

247万1000円

退職された消防団員に

支給するものです。

同意案件

●井手町自治功労者

汐見 明男 氏

辻井 幸弘 氏

●町道29号線第2工区

道路改良その7工事

1億163万3400円



支援学校に続く町道29号線道路改良工事



議長 奥田俊夫

所信表明

「安全で安心して暮らせる

町づくりをめざす」

この度、井手町議会議長の要職に選ばれましたことは、誠に身に余る光栄であるとともに、その重責に身が引き締まる思いでございます。

今後さらに自ら研さんを深め、議会の活性化を図るとともに、審議の場においても、柔軟かつ的確に対応できるよう、適正かつ円滑な議会運営に鋭意努力してまいらる所存でございます。

私は、元消防団長としての経験や考えを最大限に活かし、議員各位とともに町政発展のために、多岐に渡る住民のニーズに的確に 대응することができるよう、また行政と議会が一体となって、井手町の発展と住民福祉の向上をめざし、職責を全うする覚悟でありますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年9月定例会 議案・議決結果一覧表

審議結果等は次の通りです。(○=賛成 ×=反対 —=欠席または退席) *奥田俊夫議長は、採決に加わっておりません。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果	議員名									
				木村健太	谷田健治	鎌田隆宏	小割直彦	田中保美	脇本尚憲	谷田利一	岡田久雄	木村武壽	
議案第47号	井手町印鑑条例の一部を改正する条例制定の件	令和5年9月15日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和5年度井手町一般会計補正予算(第5回)	令和5年9月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和5年度井手町介護保険特別会計補正予算(第1回)	令和5年9月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	井手町自治功労者の推薦につき同意を求める件	令和5年9月11日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和4年度井手町一般会計、特別会計「国民健康保険、多賀地区簡易水道、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道」歳入歳出決算認定の件	令和5年9月29日	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和4年度井手町水道事業会計決算認定の件	令和5年9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和4年度井手町多賀財産区特別会計歳入歳出決算認定の件	令和5年9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	工事請負契約について同意を求める件(町道29号線第2工区道路改良その7工事)	令和5年9月29日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第18号	専決処分の報告について(5 一般会計補正(第4回))	令和5年9月11日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第19号	専決処分の報告について(新庁舎等計画地外構工事)	令和5年9月11日	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発委第2号	井手町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件	令和5年9月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町政を問う

たに だ とし かず
谷田 利一 議員 (9P)

- ◆ 西島町長の基本政策

たに だ けん じ
谷田 健治 議員 (10P)

- ◆ 町内外の交通手段の充実
- ◆ 園、小・中学校の熱中症対策と
体育館に空調設備の設置
- ◆ 子育て支援のさらなる充実

こ わり なお ひこ
小割 直彦 議員 (11P)

- ◆ 越境した樹木の伐採

た なか やす み
田中 保美 議員 (12P)

- ◆ 西島町長の教育における
主な取組
- ◆ 自然環境保全の取組

おか だ ひさ お
岡田 久雄 議員 (13P)

- ◆ 出生記念となる「命名書」の
プレゼント
- ◆ 高齢者等の安全確保のための
「見守りシール」の配布

わき もと たか のり
脇本 尚憲 議員 (14P)

- ◆ 今後の高齢者を取り巻く環境
- ◆ 森林環境譲与税の活用状況

かま だ たか ひろ
鎌田 隆宏 議員 (15P)

- ◆ 新庁舎への避難

井手町
ホームページ
会議録集
QRコード



令和5年12月定例会の
日程はホームページ等
でご確認下さい。



谷田 利一 議員

西島町長の基本政策は

西島町長

汐見町政を継承

Q 初当選された今の率直な気持ちは。

A 地域住民の皆様への付託に応えるべく、さまざまな行政課題を解決するため、責務を果たしていきたい。

Q 目指すまちづくりは。

A 若さと行動力で西脇府政と協調して「豊

かな自然と利便性・快適性とが共存する新しいまち」の実現をめざす。

Q 基本政策は。

A 教育や福祉、子育て支援、環境対策、商業や農業の振興、暮らしの周辺整備、消防・防災対策等のさらなる充実を図る。

Q その実現のために

A 地域住民の皆様や関係団体等の意見も聞きながら、少しでも前進できるように取り組んでいきたい。

Q 本町における待ったなしの課題は。

A 特に人口減少対策である。

Q 具体的な対策は。



町長の初登庁の様子

A 国道24号城陽井手木津川バイパスの早期開通に向け、国土交通省をはじめとする関係機関に強く働きかけるとともに、その進捗と併せて、市街地とバイパスとを結ぶアクセス道路の整備に全力を上げて取り組んでいきたい。

Q 宅地開発については。

A バイパスやアクセス道路周辺の住宅開発

適地や事業手法の検討を進めるとともに、既存宅地や家屋の活用についても取り組んでいきたい。

Q 子育て支援等のPR方法は。

A 「子育てするなら井手町で」をキーワードに、府内トップクラスの支援内容について町内外にSNS等の様々な手法により発信していきたい。

Q 若者が住みやすい環境づくりは。

A J R奈良線全線複線化の早期実現に向け、西脇府知事や沿線市町と引き続き連携して取り組んでいく。

Q その他の取組は。

A 新たな企業の誘致や山城多賀駅前商業施設が予定通り来年夏に開業できるよう、関連する道路等の整備に取り組んでいきたい。



登庁式で抱負を述べる西島町長